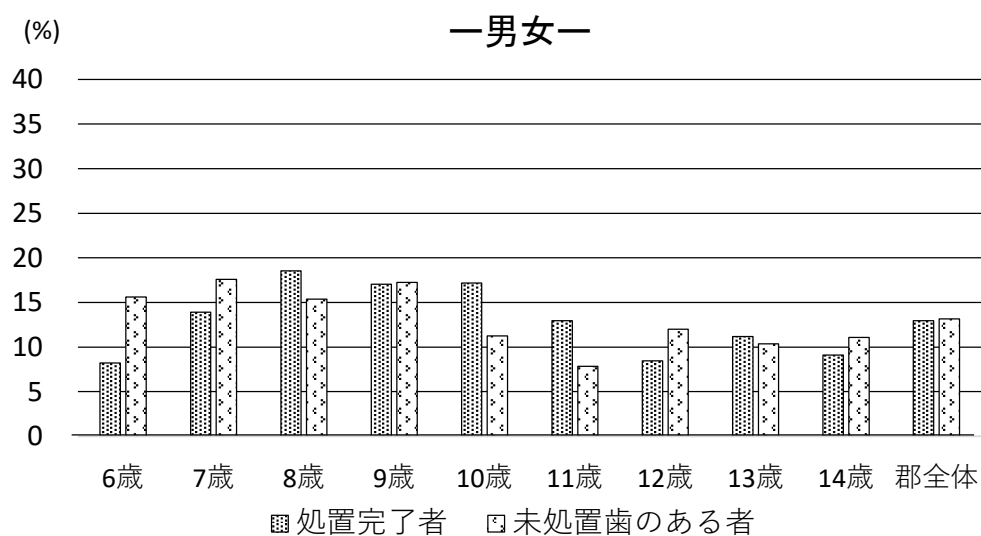
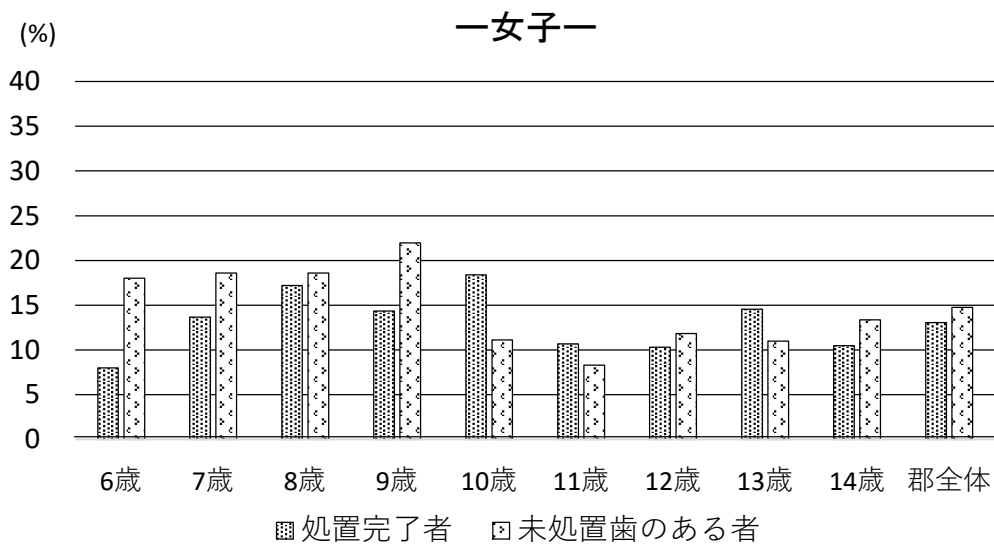
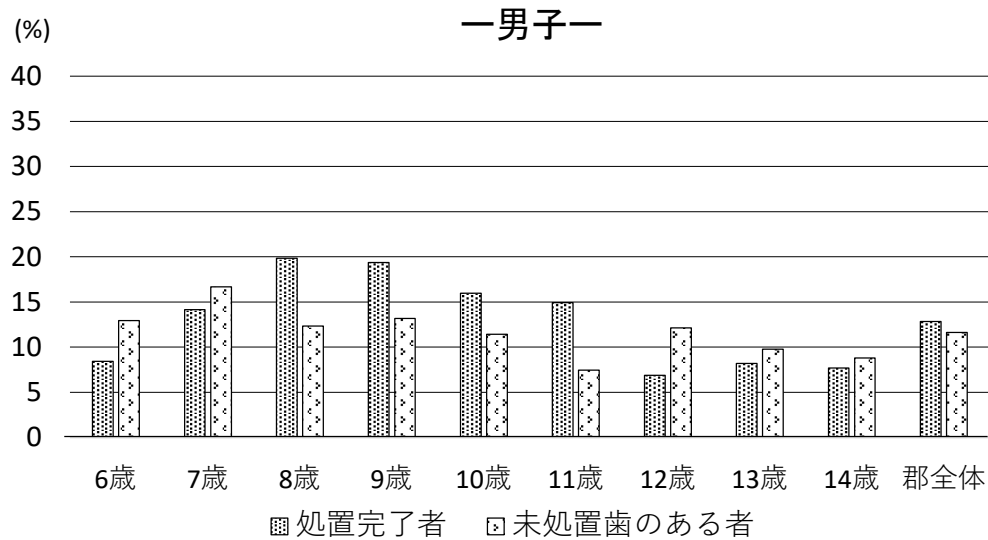


□ う歯罹患率(永久歯及び乳歯)



一口メモ

う歯罹患率は、在籍する児童生徒の中で、う歯がある者の割合を示しています。う歯被患者の内、未処置歯のある者は6～9歳に多く、その後は減少傾向にあります。しかし、12歳で再び増加する傾向があるため、小学生のうちから継続して歯科保健教育に努める必要があります。また、う歯罹患率が11歳頃に減少しているのは、乳歯の生え変わりによると考えられます。